

第2章 話し合いの結果

1. 話し合いの結果

「南の風トーク～くにたち市民討議会～」は、南部地域整備基本計画の策定に伴っての実施のため、大テーマを「南部地域のまちづくり」と位置づけた。

具体的な話し合いのテーマは、まちづくりという言葉の多様性や無作為抽出による参加者のため中には南部地域を知らない方もいることから、南部地域を知らない方でも気軽に参加できるように順次発展的に関連する6つの小テーマを設けたプログラムとした。

初日の2月21日には、初対面の緊張を解きほぐすとともに参加者に先ずは南部地域を知ってもらうことを念頭に比較的話しやすい「南部地域の魅力について」を第1回目のテーマとして、南部地域に住んでいる方もそうでない方も一緒になって南部地域の魅力について話し合い、南部地域の魅力を認識したところで、第2回目は「南部地域の課題について」をテーマとして話し合っていた。

第3回目は、国立市に住んでいながら南部地域を知らなかったということがありませんでしたかとの問いかけに対応する形で、「南部地域を広く市民に知ってもらうためにはどうしたらよいか？」というテーマで話し合っていた。

2日目の2月22日には、1日目の話し合いを踏まえ、課題と考えられる住みやすさと豊かさの問題をとらえ、第4回目は「南部地域を住みやすくするにはどうしたらよいか？」第5回目は「南部地域を豊かにするにはどうしたらよいか？」をテーマとし、最終の第6回目は、「南部地域を住みやすく豊かにする、を実現するにはどうしたらよいか？」というテーマでこれまでいろいろと出していた意見がどうすれば実現できるのかということで、話し合っていた。

テーマごとに特に大切なものと思われるものを取り上げていただき、AとBの大グループでの投票の結果における上位3位の意見を次に示す。

なお、市民の声が適正に報告書に反映されるよう努め、話し合いの結果は、表現の削除や変更は行わず、明らかな誤字は修正したが片仮名には意図がある場合があるため修正は行っていない。

(1) 南部地域の魅力について

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	14票	自然・歴史を活かした観光地
	2	10票	農業体験ができる(田植え、稲刈り、梨もぎ、魚釣り)
	3	8票	多摩川周辺からの景観
	3	8票	まちづくりから里づくりへ無限の可能性がある。
B	1	15票	魅力がどんどん失せている(乱開発、こまぎれ住宅) 更に倉庫群やバイパス
	2	12票	豊かな自然(多摩川・水田・湧水) や谷保天などは心のよりどころである。
	3	11票	歴史、文化を遺す地域である

(2) 南部地域の課題について

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	13 票	豊かな自然と歴史の保護
	2	12 票	廃棄物処理場の規制
	3	9 票	未来につながる企業、設備
	3	9 票	南北間交流、ショッピング、観光客の交通手段・道路問題
B	1	13 票	国立らしい景観づくりを南部にも。市の花、桜を南部へも植樹
	2	12 票	生活の基本施設：交通、医療、買物
	3	11 票	市全体のマスタープランの中における南部地域の位置づけが不透明
	3	11 票	ハコモノはいらない。赤字出たら誰が責任取るの。

(3) 南部地域を広く市民に知ってもらうにはどうしたらよいか？

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	15 票	イベントを企画する（市民参加の実行委員会形式で） （例）花火大会、ホテル、ヤキイモ大会、ウォーキング、たこあげ大会、オリエンテーリングなど
	2	11 票	継続性、定期性、頻度高のイベント （受信者メリットのあるイベント）
	3	9 票	市報、公共施設及びマスメディアによるPR
B	1	14 票	基本構想と情報がない。知ってもらうために…目的は何か。
	1	14 票	開発の後始末、今後はどうつなげるか
	3	12 票	南部の情報少ない。さらに、コミュニケーションを図るのが先決

(4) 南部地域を住みやすくするにはどうしたらよいか？

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	18 票	移動手段の整備 ・多様な交通手段（歩きやすい買物道路、カート、自転車） ・くにつこバスの増発（矢川、谷保）北を減らす
	2	15 票	都市農業を維持する為の政策・方法の強化
	3	7 票	生活に便利な施設 ・診療所、交番、ミニスーパー・ショッピングセンター
	3	7 票	交通網の整備（バス等の公的交通）
	3	7 票	農業従事者と一般住民のコミュニケーションによる合意形成
B	1	14 票	農地・緑地保全、農地管理を市で一元化。 緑地の市民参加型保全策を。
	2	12 票	清化園跡地利用 病院、銀行、郵便局、警察署等
	2	12 票	行政指導で医療、福祉、介護施設等を強制配置 →環境がよいのでらしさとして福祉重点

(5) 南部地域を豊かにするにはどうしたらよいか？

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	16 票	条件整備、進んでない地域をうきぼりにする。 自由度、選択肢、残された時間
	2	13 票	暮らしに農業を取り入れる (谷保天神の梅園、家庭菜園、生ゴミ利用システム、桃の花)
	3	10 票	農産物で収入増 地産地消、高付加価値品
B	1	11 票	インフラ整備を進める。東京だけは人口増続く。歩車道分離。残すべき農地以外の優良宅地化、建築指導。総合的な交通手段確保。
	2	10 票	次世代を考慮した、自然を守る開発…時間をかけた(たっぷりかけてほしい) 柔軟な方針
	3	9 票	心の豊かさを限定的にでも残す 援農体験、援農支援に市の補助を

(6) 南部地域を住みやすく豊かにする、を実現するためにはどうしたらよいか？

グループ	順位	票数	まとめ
A	1	14 票	ショッピングセンターの企画内容(地元住民参加)
	2	13 票	南北格差を市民全体で認識。資金を南部に集中投入(北へは少しおくらせる) 北の市民は少しがまんしてもらう
	3	9 票	魅力ある地域の活性化 特色ある行事の拡充
	3	9 票	農業の保全、活用(学校給食素材、体験学習、観光農園、梨など)
B	1	14 票	基本構想をわかりやすく絞り、市民がもっと参加できるようにする。行政は、相続と後継者の問題を強力に推し進める。南部にひとつ早急に見どころをつくる。
	2	12 票	大改造計画をすすめる ①高速道南側はすべて準工業地化 ②南部住民を旧甲州街道沿いに移住 ③南武線を高架化、高速沿いに移し新駅
	3	11 票	「水・緑・動植物」の保全強化を推進していく(教育・安心・安全につなげる)

2. 分析方法

各小グループの発表後の投票結果により、多くの票を獲得した意見が多くの参加者の共感を得た意見として捉えることはもちろんであるが、一人あたり5票の投票ができることと獲得票数は少ないものの、意見の方向が類似しているものも見受けられることから、投票結果及び討議ボードの内容を再度検証し、改めて類似の意見や票数をまとめることでそこから見られる市民意見の傾向や背景などを分析することとした。

なお、意見や票数のまとめは、今回の市民討議会の結果を南部地域整備基本計画の策定に参考とすることを目的としていることから計画策定の体系的な項目と整合を図るよう配慮した。

分析の内容は次頁以降に示すが、本内容は4月24日に実施した中間報告会において、市民討議会に参加された方々からの了解を得ているものである。

3. テーマごとの話し合い結果の分析について

(1) 第1回話し合い：南部地域の魅力について

①情報提供者

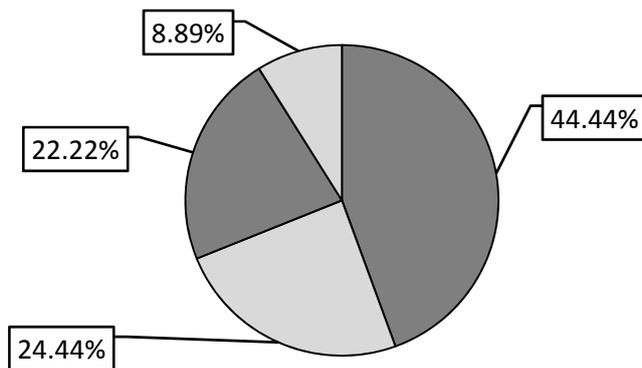
平林 正夫 さん（くにたち郷土文化館館長）

②Aグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○自然や歴史環境に関すること					
自然・歴史を活かした観光地	14	7	40	44.44%	
多摩川周辺からの景観	8	3			
水辺風景・田園風景があり環境が良い。	7	5			
野鳥（サギ、カモ）魚（フナ、コイ）植物（城山公園周辺）	6	6			
自然環境は残っている。大切に	5	9			
○未開発、未整備に関すること					
まちづくりから里づくりへ無限の可能性はある。	8	3	22	24.44%	
道が未整備な為大型ダンプ等が進入してこない。	6	6			
公園が出来てきた。グラウンド	5	9			
未開発の多用途の土地が多い	3	12			
○農業環境に関すること					
農業体験ができる（田植え、稲刈り、梨もぎ、魚つり）	10	2	20	22.22%	
新しい農業環境	6	6			
農業を大切にしたい	4	11			
棄 権	8	—	8	8.89%	
合 計	90		90	100.00%	

○第1回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ 農業用水の問題を明確に公開
- ・ 南部地域の情報をもっと出すべき

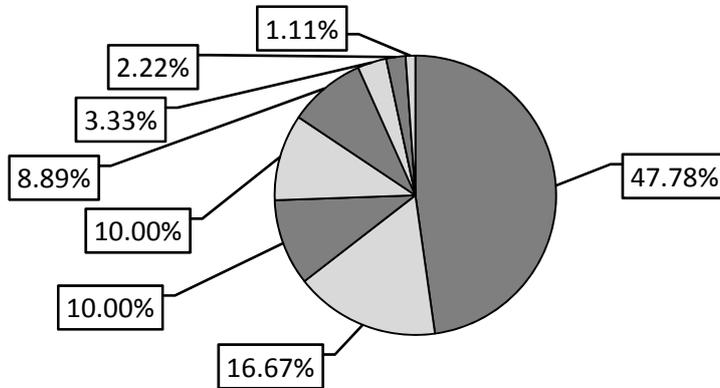


③ Bグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○自然や歴史環境に関すること				
豊かな自然（多摩川・水田・湧水）や谷保天などは心のよりどころである。	12	2	43	47.78%
歴史、文化を遺す地域である	11	3		
自然、保存、維持：体験した経験	9	4		
林、自然の形の雑木林、小川と小動物の生息している	7	8		
自然	2	10		
歴史	2	10		
○魅力がどんどん失せている（乱開発、こまぎれ住宅）更に倉庫群やバイパス	15	1	15	16.67%
○農産物、地場野菜を安くおいしく食べられそう	9	4	9	10.00%
○改善点：認知度	9	4	9	10.00%
○清化園あとの活用はよく考えて	8	7	8	8.89%
○気になる点：住人の視点	3	9	3	3.33%
○産業	2	10	2	2.22%
棄 権	1	—	1	1.11%
合 計	90		90	100.00%

○第1回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・畑がミニ開発されている
- ・策定案をまとめるのは今では遅すぎる
- ・住んでいる側から、医療・交通・買物不便で魅力なし
- ・インターは住む上で大歓迎だが、泉地区は公害（フンジン）ひどい



④分析

Aグループでは、保全的な要素と考えられる自然や歴史環境に関するまとめが全体の約半数の得票率を占め首位となった。次いで不足的な要素と考えられる未開発や未整備に関するまとめ、保全的な要素と考えられる農業環境に関するまとめが続く結果となった。

Bグループでは、保全的な要素と考えられる自然や歴史環境に関するまとめが全体の約半数の得票率を占めた。個別の意見では、現状の状況から魅力がどんどん失せているという意見に得票が集中した。

A、Bグループともに自然や歴史環境、文化に関することが上位かつ高得票となった。

(2) 第2回話し合い：南部地域の課題について

①情報提供者

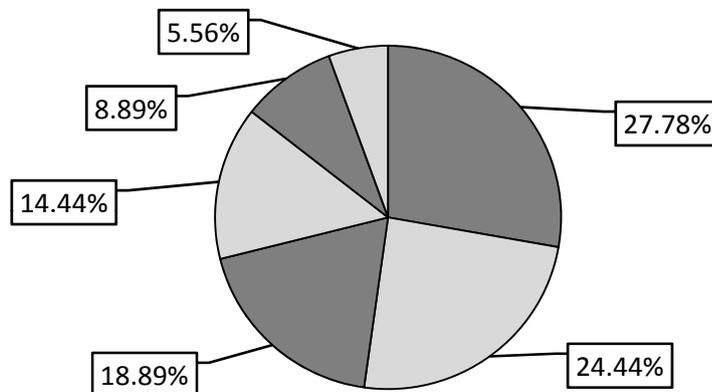
関 敏明 さん（国立市農業委員会会長）
 田中 和徳 さん（南区自治会会長）

②Aグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○企業の誘致や規制に関すること				
廃棄物処理場の規制	12	2	25	27.78%
未来につながる企業、設備	9	3		
企業誘致	4	11		
○交通の便の改善等に関すること				
南北間交流、ショッピング、観光客の交通手段・道路問題	9	3	22	24.44%
道路整備の方向性→多様性 (散歩、サイクリング、ランニング、バス、その他)	7	7		
国立北部からのアクセスが良くなれば人が集まりやすい	6	8		
○農業環境の保全に関すること				
農業地区の後継者の明確化 →・転地の方向性、・推進の為の条例（補助として）	8	5	17	18.89%
農業政策の未来	6	8		
都市農業を保全する（自然環境を残しつつ）	3	12		
○自然や歴史環境の保全に関すること				
豊かな自然と歴史の保護	13	7	13	14.44%
○細かい地権者が多い（＝まとまりが困難） →地域整理の方向性と地権者外の参加協力	8	5	8	8.89%
○南部地域の良さのアピールが足りない (多摩川の富士山をながめられる、はけ、城山など)	5	10	5	5.56%
合 計	90		90	100.00%

○第2回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ムダな公共事業を増やすことなく、南部地域の自然を大切にしたい
- ・地域が遭遇してきた深刻な問題点を直視し、今後の施策に活かすこと
- ・開発と公害

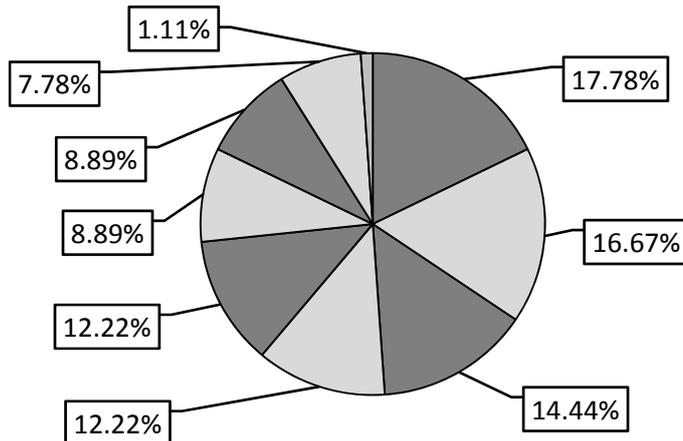


③ Bグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○生活環境に関すること					
生活の基本施設：交通、医療、買物		12	2	16	17.78%
現況		4	10		
○農業環境の保全に関すること					
農地の集約化、農協が総合経営し水耕栽培等で特色ある製品を。		9	5	15	16.67%
これからの農業		5	8		
農地の活用		1	12		
○景観の創出に関すること					
国立らしい景観づくりを南部にも。市の花、桜を南部へも植樹		13	7	13	14.44%
○市全体のマスタープランの中における南部地域の位置づけが不明		11	3	11	12.22%
○ハコモノはいらない。赤字出たら誰が責任取るの。		11	3	11	12.22%
○地域のかかえる問題と地域開発の政策の関連性見えない		8	6	8	8.89%
○南部の進むべきテーマが見出しにくい。 討議時間足りなかった。		8	6	8	8.89%
○企業の誘致等に関すること					
企業の誘致（公共施設）		5	8	7	7.78%
産業基盤：優良企業誘致、雇用確保		2	11		
棄 権		1	—	1	1.11%
合 計		90		90	100.00%

○第2回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ 清化園跡地の近くに“道の駅”をつくり地元のものを取り入れる（地産地消）
- ・ 企業誘致や道路整備は拙速で考えないこと。
- ・ 農地をひとつにまとめ、景観・自然を守り、イメージ高める。
- ・ 誘致企業に対してマイナス点が出ないように（交通、雇用etc）



④分析

Aグループでは、不足かつ阻害的な要素と考えられる企業の誘致や規制に関するまとめが全体の約3割の得票率を占めた。次いで、交通の便の改善等に関するまとめが約3割弱の得票率で続き、さらに自然や歴史環境の保全、農業環境の保全に関するまとめが続いた。

Bグループでは、農業環境の保全、景観の創出、生活環境、企業誘致など幾つかの課題が挙げられた。個別には、景観の創出に関するまとめが最大の得票率を集め、次いで生活環境の改善へのまとめに得票率が集中した。

(3) 第3回話し合い：南部地域を広く市民に知ってもらうにはどうしたらよいか？

①情報提供者

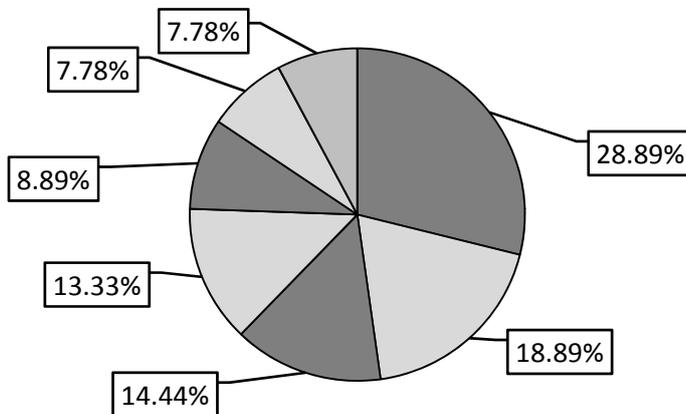
田村 信之 さん（地域ポータルサイト推進協会）

②Aグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○イベント等の実施に関すること					
イベントを企画する（市民参加の実行委員会形式で） <small>（例）花火大会、ホテル、ヤキイモ大会、ウォーキング、たこあげ大会、オリエンテーリングなど</small>	15	1	26		28.89%
継続性、定期的、頻度高のイベント （受信者メリットのあるイベント）	11	2			
○情報の発信に関すること					
市報、公共施設及びマスメディアによるPR	9	3	17		18.89%
市報の記事を改善 （みんなに“読ませる”ような内容に！！）	8	4			
○現状の魅力の活用に関すること					
南養寺の宝物（縄文遺跡）を見せる、空中公園の宣伝、 ハケ、ママ下湧水での水遊びの宣伝、くにたち郷土館の宣伝	8	4	13		14.44%
南部地域の自然、文化、歴史 （湧水、多摩川、郷土文化館、古墳、城山など）	5	9			
○広範囲な交流に関すること					
南部だけでない周辺広域の共同イベント	8	4	12		13.33%
他地域の方との交流会の実施	4	11			
○新たな集客等に関すること					
ショッピングセンター及び飲食店を作る	5	9	8		8.89%
公共の乗り物（バス、コミュニティバス）を増やして 交通アクセスを良くしたり、イベントを考えて人集めをする	3	12			
○発信したいテーマ（南部地域外、市外地域）	7	7	7		7.78%
○校外学習、食育による次世代への伝達	7	7	7		7.78%
合 計	90		90		100.00%

○第3回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・石田大橋記念行事を日野市と合同で。
- ・直近の効果のあるテーマを今年中に開催する。
- ・南部地域の何を知らせたいのかを明確化、それに応じた知らせ方を決める

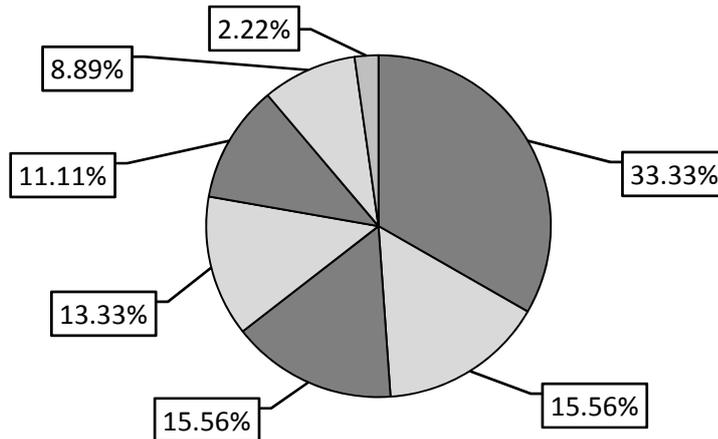


③ Bグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○イベント等の実施に関すること				
イベントの工夫を行い、市民が気楽に参加できる機会を提供する	8	5	30	33.33%
市の行事やイベントを南部でする（どんど焼、産直直売）	7	6		
地域（特に学生）の参加、アイデアを提供してもらう	5	8		
広報活動：有名人に依頼	6	7		
広報活動：人集め	4	10		
○基本構想と情報がない。知ってもらうために…目的は何か。	14	1	14	15.56%
○開発の後始末、今後はどうつなげるか	14	1	14	15.56%
○広範囲な交流に関すること				
南部の情報少ない。さらに、コミュニケーションを図るのが先決	12	3	12	13.33%
○現状の魅力の活用に関すること				
良い所をスポットでなく連続化する。（桜並木、大公園）ヨーロッパ風に	10	4	10	11.11%
○情報の発信に関すること				
個人ブログ、ホームページ有効利用、個人ガイドボランティア活用	5	8	8	8.89%
魅力あるポイントをチラシ等でPRを行う	3	11		
無効	2	—	2	2.22%
合 計	90		90	100.00%

○第3回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ 3中の半分を老人ホームに
- ・ 大歓楽街をつくる
- ・ 有名芸能人に引越してもらう
- ・ 情報の頻度を多くする
- ・ 他地域からの参加型のイベントの開催



④分析

Aグループでは、個別でのまとめで第1、2位の得票数を集めたイベント等の実施のまとめが全体の約3割弱の得票率を占めた。次いで市報などの情報発信の方法や内容の改善のまとめに得票数が集中した。

Bグループでは、イベント等の実施に関するまとめが全体の約3割の得票率を占めた。一方個別では、その他に関する事として、話し合う上での情報の不足や今後のまちづくりへの懸念のまとめに得票数が集中する結果となった。

(4) 第4回話し合い：南部地域を住みやすくするにはどうしたらよいか？

①情報提供者

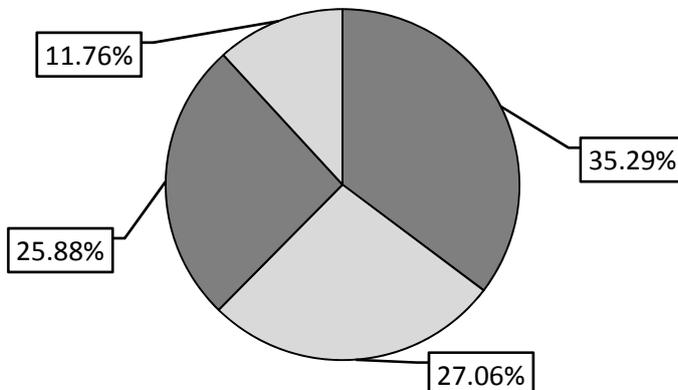
佐伯 光貞 さん（前国立市農業委員会会長）
北島 勝俊 さん（国立市農業委員会委員）

②Aグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○交通手段の整備に関すること				
移動手段の整備 ・多様な交通手段（歩きやすい買物道路、カート、自転車） ・くにっこバスの増発（矢川、谷保）北を減らす	18	7	30	35.29%
交通網の整備（バス等の公的交通）	7	3		
バス便を増やす、生活道路の充実、今以上の道路は不要	5	8		
○住環境の整備に関すること				
生活に便利な施設 ・診療所、交番、ミニスーパー ・ショッピングセンター	7	3	23	27.06%
地域の特性にあった条例の見直し（建築、ゴミ焼却…）	6	6		
住民の日常生活の利便性を高める	5	8		
地元の高齢者が憩えるショッピングセンター及び温泉、飲食店が必要	3	11		
住環境を整備する	2	12		
○農業環境の保全に関すること				
都市農業を維持する為の政策・方法の強化	15	2	22	25.88%
農業従事者と一般住民のコミュニケーションによる合意形成	7	3		
○自然環境の保全に関すること				
豊かな自然を残して、できれば増やしたい	6	6	10	11.76%
心安らぐ環境の保全、創出 ・有機農業の維持 ・城山南の整備とPR（くにっこバスによる観光）	4	10		
合 計	85		85	100.00%

○第4回話し合いの残したい意見（投票対象外）

・南武線、甲州街道間の再整備

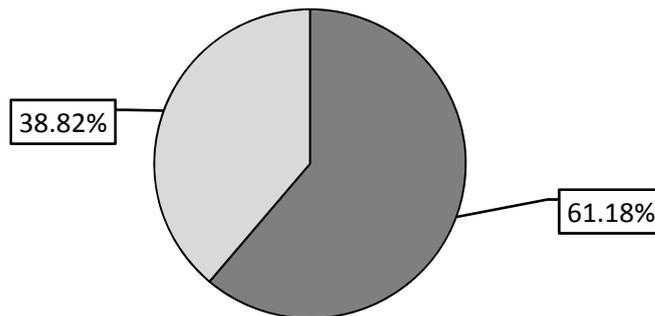


③Bグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○住環境の整備に関すること					
清化園跡地利用 病院、銀行、郵便局、警察署等	12	2	52	61.18%	
行政指導で医療、福祉、介護施設等を強制配置 →環境がよいのでらしさとして福祉重点	12	2			
大きな公園を作る	11	4			
利便性、不便さを補うための最低限の交通アクセス手段と医療	5	6			
弱者（子ども、障害者、老人）にも配慮した生活基盤づくり	5	6			
歩行者に配慮した道路	4	9			
商店活性化、商店街の積極的参加と工夫。	2	11			
インフラの整備 浄化設備、歩道、自転車道整備、バスを多く	1	12			
○農業環境の保全に関すること					
農地・緑地保全、農地管理を市で一元化。緑地の市民参加型保全策を。	14	7	33	38.82%	
農業者と新住民とのコミュニティづくりが先決である	11	4			
有機栽培に意欲のある農家支援	5	8			
環境整備：景観統一、市民農園、分離する	3	10			
合 計	85		85	100.00%	

○第4回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ 国立から出る
- ・ 農地の税金をなくす
- ・ 総合、トータルな開発、運営等プロパー募集する
- ・ 相続税軽減
- ・ ブランド（高級）住宅地化する
- ・ 高速から南は対象外



④分析

Aグループは、交通手段の整備に関するまとめが一番多くの得票率を占め、次いで住環境の整備に関するまとめが続くが、交通手段の改善も住環境の整備の一つと考え、合算すると約6割の得票率となる。そのほかの約4割は、農業と自然環境の保全という結果であった。

Bグループは、住環境の整備に関するまとめが全体の約6割の得票率を占め、その他の約4割は、農業環境の保全という結果であった。

(5) 第5回話し合い：南部地域を豊かにするにはどうしたらよいか？

①情報提供者

阿部 ひろみさん（国立市谷保在住）

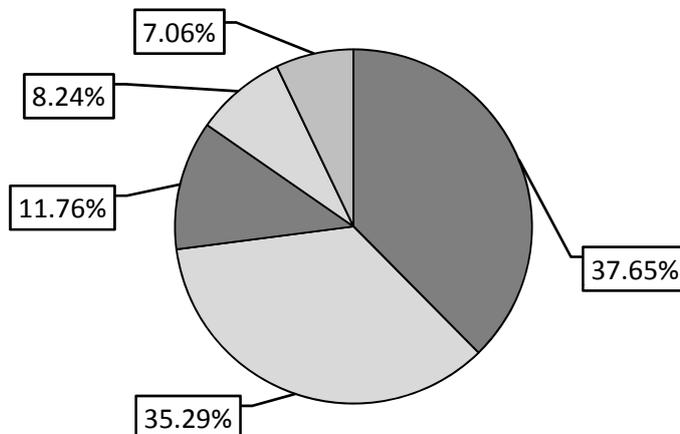
田中 賢治 さん（JA東京みどり国立地区青壮年部）

②Aグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○計画的なまちづくりに関すること					
条件整備、進んでない地域をうきぼりにする。自由度、選択肢、残された時間	16	1	32	37.65%	
農地、工業地、宅地ゾーン分け、マスタープラン立案	9	4			
宅地造成と自然の両立をいかに	4	10			
どうしても現状保存する場所等を明確化（ハケ下、城山全体）	3	11			
○農業環境の保全に関すること					
暮らしに農業を取り入れる （谷保天神の梅園、家庭菜園、生ゴミ利用システム、桃の花）	13	2	30	35.29%	
農産物で収入増 地産地消、高付加価値品	10	3			
農業を促進する（相続税、産直野菜、農産物のイベント他）	7	5			
○観光的な整備に関すること					
文化的イベントを増す、人口増要、観光ツアー、各種イベント	5	8	10	11.76%	
ショッピングセンターと地元のあり方、センター周辺及び多摩川沿いを桜の名所にする	5	8			
○企業の誘致に関すること					
経済効果を上げるための方策、企業誘致、相続税を市の収入に、農地付住宅	6	6	7	8.24%	
収入を増やす（公害のない企業誘致、大型遊園地、温泉施設など）	1	12			
○具体的問題（相続税…）ピックアップ、関係者から本音と許容をはっきりさせる	6	6	6	7.06%	
合 計		85		85	100.00%

○第5回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・学校教育に農業をとり入れる
- ・ゼロからの出発する豊かにする計画を常に発現する
- ・ショッピングセンターの内容を明確化、住民へのアナウンス

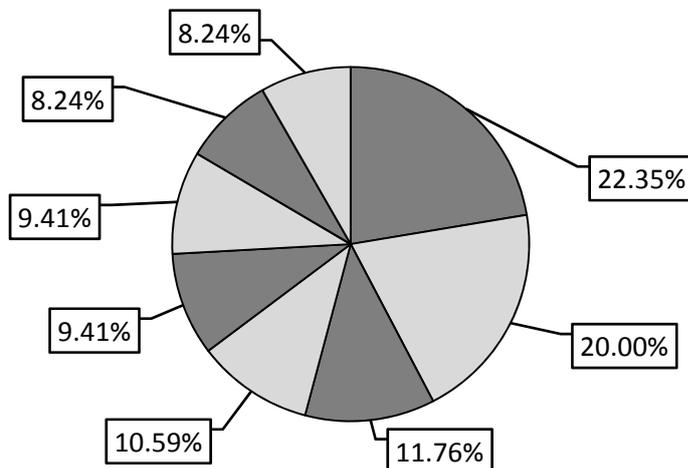


③Bグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○基盤の整備に関すること				
インフラ整備を進める。東京だけは人口増続く。 歩車道分離。残すべき農地以外の優良宅地化、建築指導。総合的な交通手段確保。	11	7	19	22.35%
ライフラインの充実	8	4		
○農業環境の保全に関すること				
心の豊かさを限定的にでも残す 援農体験、援農支援に市の補助を 農家の収入アップ、市、市民のサポート（地産地消システムづくりに力を入れる）	9	3	17	20.00%
農家支援対策の工夫を練る（例えば税制優遇、現金化対策）	4	10		
	4	10		
○計画的なまちづくりに関すること				
次世代を考慮した、自然を守る開発…時間をかけた（たっぷりかけてほしい）柔軟な方針	10	2	10	11.76%
○交流に関すること				
頻繁に市民同志の話し合いの場をもつ（市ガンバレ！！）	5	9	9	10.59%
農家と市民の南北交流、直売所マップ作り、PRを推進、イベントの実施	4	10		
○市民は協力を惜しまないが役所、農協はもっとガンバレ！！	8	4	8	9.41%
○行政の積極的支援、指導	8	4	8	9.41%
○企業の誘致に関すること				
企業誘致に聖域なし、娯楽、歓楽、観光施設の集中（清化園近く）多摩川堤を風力発電帯に	7	7	7	8.24%
○農産物のみならず、地域のPRを具体的に推進する（目玉を考える）	7	7	7	8.24%
合 計	85		85	74.12%

○第5回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ なんとかしてくれ相続税（国への要望）
- ・ 市全体の名産品づくり
- ・ 紀ノ国屋、三浦屋に、地場野菜を積極的に販売するよう協力を求める
- ・ 農家のお嫁さん対策
- ・ 市役所を南部地域へ移転
- ・ 「くにっこ」もっと増やすか止めるか



④分析

Aグループは、計画的なまちづくりに関するまとめと農業環境の保全に関するまとめのそれぞれに全体の約4割近くの得票数が集中した。そのほか、観光的な整備に関するまとめや企業誘致に関するまとめが挙げられた。

Bグループは、基盤の整備に関するまとめと農業環境の保全に関するまとめのそれぞれに全体の約2割近くの得票数が集中した。個別では、計画的なまちづくりに関するまとめが第2位の得票数となり、交流や企業誘致といったまとめが続く。その他に、行政等への期待のまとめも見られた。

(6) 第6回話し合い：南部地域を住みやすく豊かにする、
を実現するためにはどうしたらよいか？

①情報提供者

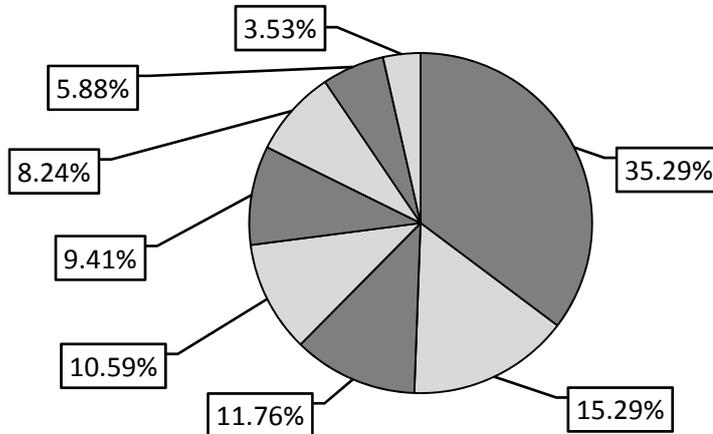
高橋 賢一 さん（法政大学デザイン工学部教授）
佐伯 茂 さん（府中用水土地改良区理事長）

②Aグループ

ま と め	得票数	順位	計	得票率
○地域の活性化に関すること				
ショッピングセンターの企画内容（地元住民参加）	14	1	30	35.29%
魅力ある地域の活性化 特色ある行事の拡充	9	3		
人、バスが動くことで活性化	7	6		
○予算の投入に関すること				
南北格差を市民全体で認識。 資金を南部に集中投入（北へは少しおくらせる）北の市民は少しがまんしてもらう	13	2	13	15.29%
○企業の誘致に関すること				
経済効果を上げる、企業の優遇措置、誘致 企業誘致（無公害企業、金融等）	5	8	10	11.76%
	5	8		
○農業環境の保全に関すること				
農業の保全、活用（学校給食素材、体験学習、観光農園、梨など）	9	3	9	10.59%
○計画的なまちづくりに関すること				
居住性の向上、住宅、農業、自然等のゾーン区分	8	5	8	9.41%
○課題は南部地域内でも分けて重点を明確にするべき	7	6	7	8.24%
○無関心を排除する為の方策	5	8	5	5.88%
棄 権	3	—	3	3.53%
合 計	85		85	100.00%

○第6回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・ 30年前の都市計画道路を見直し、住みやすい土地にし、資金を南部へ
- ・ ハケ&用水の問題は広域で取り組むテーマ
- ・ 大型パチンコ店等は強力に規制

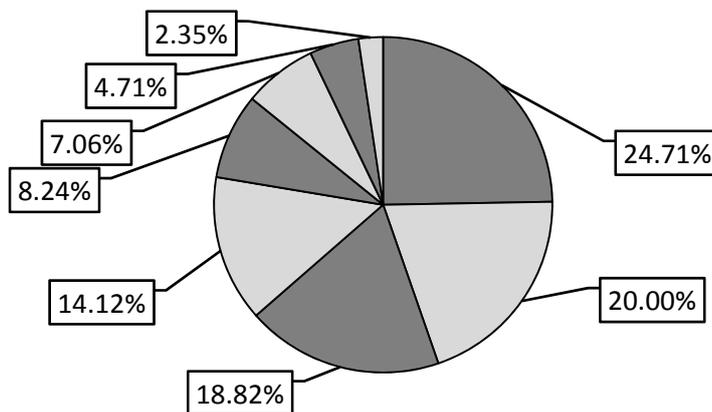


③Bグループ

ま と め		得票数	順位	計	得票率
○自然の保全に関すること					
「水・緑・動植物」の保全強化を推進していく (教育・安心・安全につなげる)	11	3	21	24.71%	
湧水や用水を中心とした自然の豊かさ	3	10			
直売センターや道の駅、残すべき自然の範囲をしっかりときめて実行する	7	5			
○計画的なまちづくりに関すること					
基本構想をわかりやすく絞り、市民がもっと参加できるようにする。 行政は、相続と後継者の問題を強かに押し進める。南部にひとつ早急に見どころをつくる。	14	1	17	20.00%	
行政主体の計画・条例化	3	10			
○交流に関すること					
市民ひとりひとりが環境意識を高め、お互いよりコミュニケーションをとり、実際に参加していく	8	4	16	18.82%	
階層別、地域別、多方面での討議で目指す姿の認識の共通化を図る	5	7			
南部、北部の交流のための方法	3	10			
○大改造計画をすすめる					
イ高速道南側はすべて準工業地化 ロ南部住民を旧甲州街道沿いに移住 ハ南武線を高架化、高速沿いに移し新駅	12	2	12	14.12%	
○行政、議会がしっかりし指導力発揮、農業者は利害をこえ一致団結を					
		7	5	7	8.24%
○農法や販売方法を変える！					
		6	7	6	7.06%
○住民・市民が主体の活性活動					
		4	9	4	4.71%
棄 権		2	—	2	2.35%
合 計		85		85	100.00%

○第6回話し合いの残したい意見（投票対象外）

- ・市民、行政の意識改革！！
- ・今迄の施政の反省点を公開とその対策の公表
- ・今回の話し合いのフィードバック（策定計画、まとめ資料等を参加者に送付）
- ・観光化：多摩川堤の風力発電機列や太陽光発電設備を作り、ビニルハウスに利用



④分析

Aグループは、地域の活性化に関するまとめが全体の約4割弱の得票率を占め、次いで個別として第2位の予算の投入に関するまとめが続く。そのほか、企業誘致、農業環境の保全や計画的なまちづくりに関するまとめも挙げられている。

Bグループでは、自然の保全に関するまとめが全体の約2割強の得票率を占め、次いで個別として第1位の計画的なまちづくりに関するまとめが続く。そのほか、交流に関するまとめや、個別では第2位の大改造計画のまとめにも得票数が集中した。

